



# Weekly Report

## 名古屋みなと

2024~2025

承認 1966年 5月 12日 例会日 金曜日 12:30  
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル  
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023  
 E-Mail office@portnagoya-rc.com  
 URL http://www.portnagoya-rc.com  
 会長 棚橋 顯 幹事 中井 規博  
 広報・雑誌・会報委員長 芹澤 謙一

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック R.I. 会長 ステファニー A. アーチック



### 第 2719 回例会 No.11

2024年(令和6年)10月25日(金) 晴  
「我らの生業」

#### 吉川ガバナー公式訪問

名古屋丸の内・名古屋みなと合同例会  
名古屋マリオットアソシアホテル

### 出席報告

会員 62 名中 53 名 出席率 85.48%  
 ○ゲスト第 2760 地区ガバナー 吉川 公章様  
 地区幹事 片桐 満様

### 会長挨拶

会長 棚橋 顯さん



皆様こんにちは。吉川ガバナー、片桐地区幹事、名古屋丸の内・名古屋みなとロータリークラブの合同例会によるごそお越しくださいました。私自身は例会前の懇談会が無事に終了して少しだけほっと

しておりますが、吉川ガバナーには後ほど講話をよろしく願いいたします。

ガバナーをお迎えしておりますがロータリーとは全く関係のない野球の話をしていただきます。昨日開催された 2024 年プロ野球ドラフト会議で私の出身校である明和高校から初めてのプロ野球選手が誕生する可能性がありました。社会人野球の三菱自動車岡崎に所属する笠井健吾 (26) 投手です。しかし残念ながら今回は指名されませんでした。

明和高校では県 3 回戦で敗退した 3 年夏は「三番・遊撃」で出場。もともと投手でしたが、1 年時に右ひじを痛めたため、野手に専念していました。同高の先輩がプレーしていたことから慶応大学を志望し、1 年の浪人を経て一般入試で経済学部合格しました。大学では投手に復帰することを目指してトミー・ジョン手術を受け、気の遠くなるようなリハビリ生活を続けました。そして学生最後の 4 年秋

のリーグ戦で神宮球場初登板を遂げ、白星を挙げました。高校時代に実績のない選手の目標であり、モデルケースだといわれています。三菱自動車岡崎では主に先発としてチームを全国大会に導く選手にまでなりました。

彼は野球選手としてこれからも成長を続けてプロを目指していくと思います。ずっとやってきたこと(野球)が突然なくなる日常がどんな空虚なものになるのかは未経験者の私には想像もできませんが、彼が自分自身でここまで来たんだと満足できる場所までたどり着けることを切に願います。

### ニコBOX

(ニコボックス頂戴いたしました) 吉川ガバナー  
地区幹事片桐様  
(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)

名古屋丸の内 RC 加藤会長  
(吉川ガバナー、講話をよろしく願いいたします)  
棚橋会長

(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)中井幹事  
(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)梅田さん  
(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)岩佐さん  
(私の業務が大変忙しく続けて例会を欠席しました。夜間の会合にはできるだけ参加させていただきます)

山川さん  
(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそおいで下さいました。よろしく願いいたします) 寺本さん

(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)福西さん  
(吉川ガバナー・片桐地区幹事、ようこそお越し下さいました。本日はよろしく願いいたします)室原さん  
(吉川ガバナー、片桐地区幹事、本日は公式訪問ようこそお越しくださいました。本日はご指導よろしく願いいたします。また田中幹事には連日大変お世話になり、ありがとうございます) 長瀬さん

本日合計	41,000 円
累計	1,099,000 円

## 幹事報告

中井 規博さん

### 【地区】

- ・10月18日 カウンセラー研修会 (出席: 箕浦さん)
- ・10月23日 クラブ職業奉仕委員長会議 (出席: 渡邊さん)

### 【配布物】

- ・クラブ戦略委員会案内書
- ・雀友会 忘年会案内書
- ・雀友会 第3回案内書
- ・家庭集会Cグループ案内書 (未回答者のみ)
- ・地区大会 プログラム、名札

### 【その他】

- ・10月22日 寺本実行委員長が七尾みなとロータリークラブを訪問され、当クラブの創立60周年記念事業での能登震災復興支援について会長、幹事と懇談会をしていただきました。
- ・公共イメージ向上委員会より名古屋駅新幹線口の大型ビジョン NAGY にてポリオ根絶のビデオ放映がされております。

(放映期間 10月20日～27日 1時間に2回)  
是非とも名古屋駅の新幹線待ち時間などにご覧いただきたいとのことです。



です。お2人目の女性 RI 会長です。すでに会長テーマはご存知と思いますが、1月に開催されました国際協議会で発表された時の実際の雰囲気動画をご覧ください。約2分ほどです。

まさに THE MAGIC OF ROTARY ですね。本日各クラブの会長さんからお話がありました皆様方の様々な奉仕活動は、それぞれロータリーのマジックを生むと思います。様々な奉仕活動はその地域の人々にとって多くの恩恵を受け、時に大きなインパクトを与えていると思います。奉仕活動を行うことはその受け手に与えるインパクトだけでなく、活動したロータリアンにとっても自らロータリーへの帰属意識を強く感じることができ、人生に素晴らしい成果をもたらします。

アーチック会長は4つのイニシアティブを示しています。最優先課題は会員増強です。会員増強を図るために行動計画の推進こそ重要です。クラブでの体験が魅力的であれば、ロータリーはその強さを維持します。

平和への貢献は分断された世界を癒すためであり、ロータリーの使命でもあります。今、ロータリーが前に進むために中核的価値観、4つのテストの精神を大切に守り、継続と変化のバランスをとって変革していくことが重要です。

2760 地区の会員数の推移です。2020-21年には4,800人ほどの会員がいましたが、コロナパンデミックの影響もあり、徐々に減少傾向となっています。残念ながらコロナ後も改善が見られていません。世界的に見てもコロナ前には120万の会員が現在113万人となっています。正確には8月31日現在1,160,162人です。7月1日より25,859人ほど増加していますが、昨年同時期からは約2万人減少しています。

地区の方針を示します。「魅力あるクラブ・持続可能な奉仕活動・成長するロータリー」としました。会員増強にはそれぞれのクラブの活動が最も重要です。クラブに魅力があると会員はそれぞれにロータリーの価値観を感じ、帰属意識が芽生えます。親睦から奉仕活動が生まれます。クラブそのものが成長し、やがてロータリー全体の成長にもつながります。

改めて今ロータリーはどうしたら良いのでしょうか？大きく変革する社会の中、誰が見ても魅力的なクラブとすべきです。120年前に誕生したロータリークラブは社会で様々な貢献をして成長していきました。しかし社会が大きく変わろうとしている時、クラブがそのまま変わらないままであれば、いずれ社会から忘れ去られてしまいます。未来への成長のためロータリーは中核的価値観を大切に、4つのテストの精神を守りながら次の100年に向けての変革が必要です。

この誰が見ても魅力的なクラブとは何でしょうか？アーチック会長は2つのポイントを挙げています。

『Simply Irresistible』と、『インクルージョンと帰属意識』です。少し日本語に訳しにくい言葉ですが「抵抗できない魅力 あらがえない魅力」と訳されています。あらがえない魅力のあるクラブとなるために、インクルー

[https://www.rotary2760.org/g24-25/information/governor\\_info/detail.php?no=599](https://www.rotary2760.org/g24-25/information/governor_info/detail.php?no=599)

## ガバナー講話

国際ロータリー第2760地区 吉川 公章ガバナー



皆様こんにちは。温かい歓迎、誠にありがとうございます。私は、今年度地区ガバナーの吉川公章です。名古屋南ロータリーの所属です。どうぞよろしくお願いたします。

今年度 RI の会長はステファニー A.アーチックさん

ジョンでの対応とそれぞれの会員が帰属意識を持ち続ける事が大切です。

クラブで誰からも歓迎され、経験が魅力的で楽しく、活気に満ちていると引きつけられた人は離れなくなります。このロータリーの帰属意識こそがマジックです。インクルージョンと帰属意識に焦点を当てるのが大切です。共通の目的のために人々は結束し、互いに支えあい、目標に集中すると力が最大限に発揮されます。

では実際にどうしたらよいのでしょうか。RIは1つの回答を示しています。2018年にロータリーは新たな変革に向けてのビジョン声明を出しています。世界中のロータリアンからの意見を集約して、未来の為にロータリーのあるべき姿を示しました。「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」ロータリーのビジョンに向けて、その歴史において重要な新しい章へと踏み出しました。あらゆる活動をより効果的に行い、ロータリーのストーリーをより効果的に伝えるための行動計画です。

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める

私たちは、達成可能な目標を立てた上で、進捗状況を随時確認し、状況に応じて調整を加えています。行動計画の勢いを維持し進めていきましょう。

この行動計画を積極的に推進するため、地区に「地区行動計画推進リーダー (Action Plan Champion)」を任命することをRIから求められています。行動計画の推進はまさに2024-25年度の重要な目標です。地区ではロータリー財団地域コーディネーターの伊藤靖祐パストガバナーに地区行動計画推進リーダーをお受けいただいております。これに伴い各クラブでも「クラブ行動計画推進リーダー」の選任をお願いしました。地区からの選任のご依頼がすでに現年度が始まってからとなり、大変ご迷惑をおかけしております。

クラブを成功に導く秘訣は目標を立てるという事です。しかも次年度の計画にとどまりません。将来の計画を立てることは、クラブに方向性と目的を与えます。会員を増やす、奉仕活動を行う、クラブでの体験を魅力的なものにするなど、目標の設定は会員のモチベーションを高め、共通の目的に向かって活動するきっかけとなります。従来の定性的な戦略計画から、これを数値目標としてMy Rotaryのクラブセントラルに4つの優先事項に沿って計画をたて、それぞれ3年間の数値目標を設定し、入力します。また入力した目標設定と進捗状況はクラブのリーダーだけでなくすべての会員が確認できます。次年度以降のクラブリーダーもクラブの過去の目標を参照して、そこから改めてクラブの将来を計画し、新しい3年間の目標を設定できます。3年間の目標 (3-Year Rolling Goals) はロータリーにとっても新たなチャレンジです。チャレンジはチャンスでもあります。新たなロータリーの成

長のチャンスを皆様と一緒に達成できれば幸いです。

インクルージョンと帰属意識を持って、さらに基盤を広げるために衛星クラブを考えてください。皆様のクラブはそれぞれ伝統と格式のある素晴らしいクラブです。今までとは異なるタイプの新会員を衛星クラブの会員として迎えてください。衛星クラブは例えばクラブ内で奉仕活動に専従する別グループなどとして8名で設立できます。衛星クラブは会費、例会日時など独自に設定できます。衛星クラブ会員はスポンサークラブの正会員です。

ロータリーは、世界理解、親善、平和推進という原則の下に設立された団体です。「平和を推進することは、私たちの責任なのです」とアーチック会長は述べています。しかし紛争と分断された世界で私たちは一体何ができるのでしょうか。遠い別の世界の出来事としていいのでしょうか。ローレンアイズリーの「星投げ人」のお話をご存知でしょうか。私自身はアーチック会長からはじめて聞きました。2人の旅人が日の出る前の早朝、海岸を散歩していました。海岸には無数のヒトデが打ち上げられています。日が出るとヒトデは死んでしまいます。1人が一つずつ海に帰しています。もう1人は言いました。「君が海に返すヒトデは僅かではない。多くのヒトデはやがて死んでしまうよ。」と。

ロータリーの力は前を向いての行動にあります。我々一人ひとりの力はささやかなものですが、同じ思いでの行動はやがて大きな成果を挙げると確信しています。ポリオプラス、ロータリー平和センターなど多くのプログラムはやがて世界の平和に貢献します。今ロータリーは継続性が大切です。

地区では豊田ロータリークラブのパストガバナーの酒井法丈さん、蒲郡ロータリークラブのガバナーエレクト鈴木康仁さん、名古屋東ロータリークラブのガバナーノミニー國府谷俊盛さんといつも連携しながら活動を推進していきます。

ガバナー補佐からもご案内があったと思います。IMの全員参加は勿論、地区大会もぜひ全員参加でお願いします。

今年度もRFFを開催します。皆さんと楽しく集い、美味しい「愛知めし」をいただき、ポリオプラスに貢献しましょう。ぜひRFFで例会を行って下さい。全員参加をお願いします。

最後に今年度の国際大会はまさにマジックがいっぱいのカナダ・カルガリーで開催されます。カルガリーは遠い場所ですが、この機会にカナダの自然に触れるまたとないチャンスです。カルガリーナイト (ガバナーナイト) は2025年6月21日に開催されます。カルガリーでお会いできることを楽しみにしております。

ご静聴ありがとうございました。



本日は、吉川公章ガバナー、私ども名古屋みなとロータリークラブ、名古屋丸の内ロータリークラブの合同例会にお越しいただき、まことにありがとうございます。

ガバナーのご訪問は、私たちにとって大変光栄なことであり、また、クラブの活動を振り返り、今後の方向性を見つめ直す貴重な機会となります。私たちのクラブは、地域社会に貢献するために様々なプロジェクトを展開しております。これもひとえに、会員の皆様のご協力とご支援のおかげです。ガバナーのご指導のもと、さらに一歩の発展を遂げることができるよう、努力してまいります。

2024 年～25 年度ロータリークラブのテーマはマジックオブロータリーであります。その原動力となるのは我々自身がたずさえる、愛と友誼と奉仕の精神であるとかんがえております。本日のガバナーからの貴重なお話を今後の我々の活動に活かしてまいりたいと思っております。今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後にわたくしごとで恐縮ですが、名古屋丸の内ロータリークラブでは来る 2025 年 2 月 20 日に名古屋観光ホテルでインターシティミーティングを、3 月 13 日に名古屋クレストンホテルにて創立 30 周年記念式典を開催いたします。その際には吉川ガバナーをはじめ、本日も来場の会員の皆さんの皆様のご協力を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

### ガバナー・会長・幹事懇談会

とき 10 月 25 日 (金) 11:30  
 ところ 名古屋マリオットアソシアホテル  
 17 階「楠」  
 吉川ガバナー、片桐地区幹事、  
 2RC 会長・幹事



## 第 2 回創立 60 周年記念事業実行委員会議事録

とき 10 月 25 日 (金) 13:35～  
 ところ 名古屋マリオットアソシアホテル  
 17 階「楠」  
 出席者 棚橋 室原 寺本 芹澤 鈴木 梅田  
 山内 長瀬 橋本(修) 村田 沼野  
 加藤(嗣) 加藤(昌) 橋本(美) 藤掛  
 箕浦 久留宮 17 名  
 議事録作成者 長瀬

1. 会長挨拶 (棚橋 顯)
  - ・名古屋中 RC の 55 周年記念式典に参加したがイベント(サウンドアート+音楽)もシンプルながら料理もグレードが高く、とても格調高く運営をされていていい時間を味わえたので、負けないようなイベントにしていきたい
2. 会長エレクト挨拶 (室原 國彦)
  - ・いよいよ 60 周年に向けてこれからスケジュールが本格化していくと考えられる各位のより一層のご協力をいただきたい
3. 創立 60 周年記念事業 スケジュールについて (寺本 善雄)
  - ・各部会からの報告をいただいた上で各位の闊達なご意見をいただきながら、スケジュール感を持って進めていただきたい
  - ・全体の事業を通した『テーマ』をきちんと決めて、そこから各事業構成を考えていきたい
4. 記念式典(アトラクション)について (山内 靖雄)
  - ・「芸能人ありき」という考え方で進めるかどうかも再検討してはどうか？ 予算を抑えても中身が楽しめるような内容を考えてみたい
  - ・名古屋芸術大学 RAC の学生に頼んで出演してもらおう機会があってもいい
  - ・記念式典側でのテーマを決めて構成を考えていく必要があり、さらに予算を先に決めてコンセンサスをとってから動かないとなかなか決まらない
5. 記念事業について (長瀬 廣幸/藤掛 誠一郎)
  - 1) [10/7(月) 金沢みなと RC とのオンライン会議]
    - ・「名古屋・金沢で一緒に事業をやろう」という合意は取れた
    - ・記念事業として現地に行って植樹やイベントをやるにしても、現地の人達が本当に望んでいるニーズかどうかは、慎重に調査する必要がある
    - ・子どもたちも「支援疲れ」が現実としてある
    - ・珠洲・能登・輪島の状況は金沢側でもコンタクトが取れないなど、非常に厳しい現状であることが窺える
    - ・現地の被災者達は「とにかく話を聞いて欲しい」- 「災害関連死」が深刻化しており、見過ごせない問題となっている

- ・バスケットチームが体育館で「簡易居酒屋」を企画し被災者を招待したところ、「話を聞いてもらえる場があっとうれしい」ととても好評だった
- ・「いまずぐできる」「継続してできる」の側面から事業を検討していくべきである
- ・国の動きも非常に悪いので、民間でできる支援を考える必要がある
- ・名古屋みなと RC 自体の中で支援を上げられる『熱量』があるか、が大切
- ・「名古屋と金沢が仲良くしたい」という先方の意思を尊重して継続していきたい

## 2) [10/22(火) 七尾みなと RC 訪問報告]

- ・現地を視ることが大切ということで寺本委員長が直接七尾みなと RC を訪問し、例会後に木下会長・姥浦幹事とお話できた
- ・どういう事業をやるか、ターゲットが絞ってもらおうとアドバイスがしやすい
- ・「現地で費用を使う」=家族旅行会、ゴルフ会、物品購入など経済的な支援でも復興支援にはなるし、公的な施設への復興支援(記念碑を建てる・植樹する)などの方法もある
- ・京都洛中 RC の「創立 45 周年復興支援事業」は地区補助金事業であり、非常に参考になる

- ① 防災に関する講演
- ② 七尾/七尾みなと RC の講演/物産展による物品販売
- ③ コンサート...を「京都で行う」という「現地でなくてもできる事業」

- ・11/22 オンライン会議に七尾みなと RC 姥浦幹事にオブザーバーとしてご参加いただく方向
- ・七尾市自体は復興は相当進んでおり、もっと北の地域の方が被害が酷い・現地に行っただけで汗をかか = 「奉仕の気持ちを醸成する」ことも大切な機会である



## 6. 記念誌について (棚橋 顯/村田 誠一)

- ・今回は DVD があつたが今回はないので、あらたに台割(ページ構成)として追加する検討項目として...
- ・祝辞 ・クラブ歌 ・同好会紹介
- ・家庭集会 ・RAC50 周年報告
- ・座談会 ・友好クラブ紹介 ・周年事業紹介などを掲載することも考えている

- ・当日撮影した映像をクラウド上で保存し、QR コードを掲載することで誰でも手軽に会員が映像を楽しめるように工夫したい

※次回 第 3 回 会議予定:

2024 年 12 月 13 日(金) 13:40~



## 1 5年ぶりの韓日親善会議で韓国学友会がアピール

10月24日、第16回ロータリー韓日親善会議がソウル市内にて開催され、約800人が参加しました。実に5年ぶりの開催となった今回、韓国米山学友会が初めてブースを出展し、7人の米山学友が出席。本会議では、朴在泳会長(1995-97/仙台泉RC)が日韓のロータリー会員に向けてスピーチを行い、米山記念奨学事業と韓国米山学友会について紹介しました。また、同学友会の黄セミさん(2001-02/東京南RC)が会場内の同時通訳を担当しました。



本会議でスピーチする朴在泳会長  
学友会と関わった同学友会の活動を知る人はかなり少ないようで、朴副委員長は「すばらしい活動で、私たちロータリーが目指す姿にふさわしいと感じ、ぜひこの機会に多くの方に知ってほしいと思い依頼しました」と、韓国のロータリー会員へのアピールに期待を寄せました。まずは知ってもらうための第一歩を踏み出した今回、朴会長のスピーチを聞いた韓国のロータリー会員からは、「初めて知ったが、すばらしい活動」「今後何らかの支援ができれば」といった声が上がりました。朴会長は「少しでも多くの方に知ってもらうため、韓国ロータリーと積極的に連携していきたい」と、意気込みを語りました。

同学友会がブースを出展したのは、数カ月前に学友会について知った、という韓国ロータリー韓日親善委員会の朴麗媛副委員長から出展依頼があったことがきっかけ。韓国では、韓国米山学友会の存在や、現地日本人留学生への奨



## 2 2025 学年度奨学金申し込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2025年度年度のロータリー米山記念奨学金(学部・修士・博士/地区奨励)には、指定校586キャンパス(地区を越えた指定校の重複含む。前年度563キャンパス)から1,206人(1,202人)が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国51.4%(52.1%)、ベトナム11.9%(13.8%)、韓国9.3%(10.3%)、ネパール3.6%(2.5%)、次いで

台湾、インドネシアの順となっています。課程別の応募状況は、博士課程17.6%(19.2%)、修士課程37.6%(34.3%)、学部課程41.5%(43.2%)となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7地区17校から計39人の応募がありました。

もうすぐ締め切り 普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月 30 日まで!

普通寄付金分の確定申告用領収書の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー「寄付金について」→「普通寄付金: 申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。  
特別寄付金については来年 1 月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請は不要です。

## 3 寄付金速報 一 米山月間のご支援に感謝 一



の単月寄付額としては、昨年より約2,600万円増加し、1億7,000万円となりました。ご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。今年も残り2カ月を切りました。引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

## 4 第 2530 地区 初の「学友ナイト」開催

11月2日、国際ロータリー第2530地区(福島県)が地区大会の開催に合わせて、第1回目となる学友ナイトを開催しました。郡山市内の会場には27人の米山奨学生・学友、同地区の早川敬介ガバナー、吉田喜一地区米山記念奨学委員長、当学友会委員長石黒秀司氏のほか、ロータリー会員や青少年交換、ロータリー財団奨学生、ライラリ

アンといったロータリーの複数のプログラムの学友など、約70人が集まりました。参加した現役米山奨学生の林明輝さん(2024-25/二本松あだたらRC)は「新しい出会いがあり、良い経験になりました。また次回も参加したいです」と述べました。献誠後はカラオケルームに移動し、学友たちが熱唱。初の学友ナイトは大いに盛り上がりました。

## 5 【訃報】ベトナム南学友会 ホーライフーン会長 逝去

ベトナム南米山学友会会長のホーライフーンさん(1973-75/桐生西RC)が10月16日に逝去されました。76歳でした。ホーライフーンさんは奨学期間終了後、日本の化学メーカーに37年間勤務し、その後同社のベトナム子会社を設立。定年退職後は、日本企業のベトナム進出の支援に尽力するなど、生涯を日本とベトナムとの懸け橋として務められました。

2023年に海外10番目の米山学友会となるベトナム南米山学友会を設立、初代会長としてその中心的役割を果たされました。また、学友会設立以前からホーチミンを拠点に学友グループを結成し、日本各地のロータリークラブと協働した奉仕活動を牽引し、多大な貢献をされました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ホーライフーンさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

米山学友の部 よねやま親善大使をお招きください

第5代よねやま親善大使の3人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のおおらしや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓迎会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

月	日	今後の例会予定
11	1	休会
	8	例会変更 地区大会 11/9～10
	15	港友例会 17F「コスモス」 新入会員自己紹介 秋元隆弘さん
	22	財団卓話 17F「コスモス」 ロータリー財団委員長 猪子恭秀さん
	29	休会
12	6	年次総会・第2回クラブフォーラム 17F「コスモス」
	13	卓話 17F「コスモス」
	19	※12/20から例会変更 忘年家族会 16F「アゼリア」
	27	休会
1	3	休会
	10	港友例会 17F「コスモス」
	17	卓話 17F「コスモス」 名古屋掖済会病院 看護師 休石 直美様
	24	卓話 17F「コスモス」 人材開発オフィス M'S Moment 代表 川地 美仲子様
	31	卓話 17F「コスモス」 愛知産業大学経営学部 学部長、 総合経営学科 教授 石橋 豊様 <b>(※休会予定から変更・8/30 台風での臨時休会の振替のため例会実施)</b>